

この機関紙は、施設長用と職員回覧用の2部をお届けします。職員への回覧を
忘れないようにしましょう。十分に情報を提供し、よき人材を育てましょう。

第2号 平成8年('96年)8月5日

— 仮称 —

な い - ぶ

視情協通信 N A I I V

(発行) 〒550 大阪市西区江戸堀1-13-2 盲人情報文化センター内

全国点字図書館協議会事務局

(仮称 全国視覚障害者情報提供施設協議会)

TEL 06-441-0015 FAX 06-441-0039

第22回全国点字図書館大会(岡山大会)プログラム決定

目 的 進展する高度情報化社会にあって、視覚障害者が入手しうる情報は極めて
制約されており、一般社会との情報格差はますます拡大しつつある。一方、
視覚障害者のニーズは多様化し、即時性が強く求められている。

このような激変する情報環境を踏まえて、視覚障害者のニーズに対応する
ために「視覚障害者情報提供施設ネットワーク」を早急に構築して、情報提
供施設間の相互協力を強化し、情報サービスの一層の充実を期する。ととも
に、資格認定制度の検討、情報通信等に関する技術習得等、施設従事職員の
資質向上を図り、もって視覚障害者の社会参加促進ならびにノーマライゼー
ションの実現に資することを目的とする。

主 催 社会福祉法人 日本盲人社会福祉施設協議会 点字図書館部会
全国点字図書館協議会

主 管 中国四国点字図書館連絡協議会
社会福祉法人 岡山県視覚障害者協会

後 援(予定) 厚生省・文部省・岡山県・岡山市
各報道機関・社会福祉関係機関
社団法人 日本図書館協会・社会福祉法人 日本盲人福祉委員会
社会福祉法人 日本盲人会連合・全国盲学校校長会

期 日 平成8年10月24日(木)、25日(金)

会 場 アークホテル岡山

〒700 岡山市下石井2丁目6-1

TEL 086-233-2200 FAX 086-225-1663

事務局 第22回全国点字図書館大会事務局

〒700 岡山市西古松268-1

岡山県視聴覚障害者福祉センター内

TEL 086-244-1121 FAX 086-244-1043

日 程

10月24日(木)		
12:00~13:00	受付	開会の辞、歓迎の辞、オリエンテーション 第1 DAISY(視覚障害者用デジタル音声情報システム)について 概要・体系説明、デモ、補足説明、意見交換 第2 ネットワークを活かす — 書誌データ管理システムについて 概要・体系説明、デモ、補足説明、意見交換
13:00~13:40	開会式	
13:40~17:00	分科会	
17:00~18:00	休憩	チェックイン
18:00~20:00	夕食・懇親会	
20:00~21:30		DAISY学習会(自由参加)
10月25日(金)		
9:00~15:00	フォーラム 「視覚障害者情報サービス」を考える 部会、各委員会、各ブロック活動状況、各分科会等の報告 視覚障害者情報サービスを考える 視覚障害者情報提供施設(点字図書館)は今後どうあるべきか、5人の発題者の主張をベースに十分に意見交換を行う。	
15:00~15:20	閉会式	
15:30~17:30	館長会議・全国点字図書館協議会総会	
18:00~20:00	夕食(希望者のみ。会費5,000円 別途必要。)	
10月26日(土)		
7:30~8:30	朝食	
9:00~12:00	政策委員会	
9:00~13:00	DAISY自主学習会(参加自由)	

—— 第 2 2 回全点協岡山大会関連情報 ——

D A I S Y 自主学習会についてのお知らせ

第 2 2 回全国点字図書館大会の翌日、下記の要領で D A I S Y 学習会を開催します。

日 時	平成 8 年 1 0 月 2 6 日 (土) 9 : 0 0 ~ 1 3 : 0 0
場 所	両備スポーツセンター (両備ボウル) 〒700 岡山市桑田町 13-32 TEL 086-231-6215 FAX 086-233-4570
内 容	D A I S Y 編集技術講習会
費 用	受講料は無料
申込方法	大会参加申込時に、D A I S Y 自主学習会参加希望を明記してください。
交 通	大会会場より徒歩約 5 分

フォーラムの発題者募集について

今回は第 2 日目にフォーラム「視覚障害者情報サービス」を開催し、情報提供施設のあり方について参加者の意見を広くお聞きしたいと考えております。

つきましては、事前に発題者を 5 名募集させていただきます。今後の視覚障害者情報提供施設 (点字図書館) のあり方について、ご意見・ご要望等をお持ちの方は、ふるってご応募ください。また、ボランティアはじめ貴館の周辺の方々にもご案内いただければ幸いです。

今回の大会は、激変する情報環境に対応し、視覚障害者のニーズに応えていくための視覚障害者情報提供施設 (点字図書館) のあり方を模索する重要な大会になるものと思われまます。

テ ー マ	今後の視覚障害者情報提供施設 (点字図書館) のあり方
持ち時間	1 0 分。事前に、要点をまとめたレジメを提出していただきます。
条 件	日盲社協関係者、関係施設職員、利用者、ボランティア等、どなたでも結構です。但し、当日のフォーラムに出席していただける方に限ります。
人 数	5 人
申込期限	平成 8 年 8 月末

(恐れ入りますが、会場までの交通費、大会参加費用等につきましては各自ご負担ください。)

ご応募いただける方は事務局 (大阪) までご連絡ください。

平成 8 年度第 2 回企画委員会 報告

日 時 平成 8 年 7 月 1 3 ~ 1 4 日
会 場 日本ライトハウス盲人情報文化センター
出席者 川越利信、藤野克己、田中徹二、細川啓子
河村宏、村井晶人、小野俊己

第 2 回企画委員会を開催し、下記の通り審議・確認しました。

1 . 第 2 2 回全国点字図書館大会 (岡山大会)

岡山大会については、昨年秋から、企画委員会および政策委員会において検討されてまいりました。最終的には、去る 6 月 1 2 日に開催された日盲社協仙台大会の際の政策委員会においてほぼ概要は決定しましたが、更に、今回の企画委員会で詳細部分を検討しました。

プログラム 別紙 (2 ページ) の通り合意
フォーラム発題者募集 別紙 (3 ページ) の通り

2 . サービスの標準化

サービス委員会を中心に、企画委員会で模索してゆき、骨格だけでも、平成 9 年 3 月末までには策定できるよう、努力すると合意。

3 委員会の動き

各委員会が、事業計画にしたがって活動中。

4 . 運営基準

仙台大会で提出された参考資料を、小口継明氏・盛田義弘氏を中心に、更に検討を深めていただき、その資料を企画委員・政策委員会に配布し、検討を重ねる。10月の岡山大会では、たたき台となりうる提案資料にちかづけることで合意。

5 . I F L A (国際図書館連盟) スタンディング・コミッティー

I F L A (I n t e r n a t i o n a l F e d e r a t i o n o f L i b r a r y A s s o c i a t i o n s a n d I n s t i t u t i o n s) の視覚障害者部会のスタンディング・コミッティー (常任委員会) が、来る平成 9 年 2 月に、京都で開催されます。このスタンディング・コミッティーは、全点協がホストです。

これから、視覚障害者の情報サービスを支えてゆきたいとの思いを持っておられる方々は、是非、今からスケジュールを調整して参加しましょう。

日 時 平成 9 年 2 月 1 8 日 ~ 1 9 日 D A I S Y 総括委員会
2 0 日 ~ 2 1 日 スタンディング・コミッティー

会 場 京都 (会場未定)
参加国 約 15 か国
ホスト 全点協 (全国点字図書館協議会)

6 . 点字出版部会との話し合い

点字出版部会とてんやく広場ならびに全点協が、重複回避について調整のための話し合いをもつことになりました。

7 . リハ協のノーマネットへの関わり方

日本障害者リハビリテーション協会主催のノーマネット (パソコンネットワークシステム) と全点協との関わり方について、厚生省ならびにリハ協とも意見調整を行うことで合意。この問題は、てんやく広場運営委員会においても、検討を重ね、よりよき選択と合意が必要です。

8 . 国立国会図書館との友好的な関係を目指して、定期的な懇談会の提案を行うことで合意。

法人の動き ~ 行動する日盲社協 ~

日盲社協企画委員会開催さる

平成 8 年度第 1 回日盲社協の企画委員会が、7 月 19 日 (金)、東京都失明者更生館で開催されました。

主なテーマは、部会の再編成と会費値上げの件でした。

部会再編成の骨子

1 . 現在の 6 部会を以下の 5 部会に再編成する。

訓 練 施 設・・・生活訓練施設、盲導犬、更生施設など

生 活 施 設・・・救護施設、盲老人ホームなど

作 業 施 設・・・授産施設など

地域利用施設・・・相談、用具など

情報提供施設・・・点字出版施設、点字図書館など

2 . 平成 9 年 3 月頃を目処に意見の取りまとめを進める。

詳細は日盲社協通信に譲ります。

機関紙名称を考える (その2)

会長 川越利信

機関紙第1号に対して、何人かの方からお便りをいただきました。

1. 名称について

視情協通信よりも、「全視情協通信」がいい。

全点協の組織名を全国視覚障害者情報提供施設協議会に変更した際の略称は、「全視情協」がいいという意見です。(2名)

機関紙名称は、岡山大会までは、「全点協通信」でいいのではないかと。(1名)

2. どうしても、パソコン通信で受け取らないといけないでしょうか？ できれば、墨字がいい。

3. N A I I Vは、何の意味ですか？(1名)

以上、4人の方からご意見をいただきました。

「全視情協」については、もっともかな、とも思います。みなさん、いかがですか？

岡山大会までは「全点協」でとのご意見、その通りだと思います。だから、大会名称も「全点協大会」となっています。ただ、名称変更が課題になっていますので、いろんな角度から考えてみて、試作してイメージを確認するのも大事なと思っています。岡山大会でどれだけこの課題のために時間がとれるかわからないことと、いずれにしても、会議で決めることには限度が付きまといますので、こうして時間をかけて検討するのも一つの方法かなと考えています。

通信は墨字で欲しい、とのご意見。わかります。予算面で問題がなければ、墨字も発行してゆくのは大いに結構だと思います。ただ、それはそれとして、いま、この社会の情報環境や利用者サービスのことを考えると、情報提供施設に関わっている私たちが真っ先にパソコン通信に慣れることが大切なように思います。そして、周囲のボランティアや利用者にもいい影響を与えることも大切なように思います。

N A I I Vの説明を第1号ですべきであったのに、すっかり忘れていました。お許してください。N A I I Vは、" National Asosiation of Insutitutions of Information Servise for the Visually Handicapped" の略です。

もちろん、この略称は、新名称を全国視覚障害者情報提供施設協議会(視情協または全視情協)と提案することを前提にしております。

~~~~~ 短 信 ~~~~~

《 「デジタル録音図書」紹介のTV放映 》

去る7月11日(木)、NHK「モーニングショー」で、DAISY(デジタル録音図書)が紹介されました。視覚障害者が試作機を実際に使用し、また、当事者としての意見・要望についても放送されました。ビデオをご覧になりたい方は事務局までご連絡くださればお貸しいたします。

《 訃 報 》

日盲社協現理事で、北海点字図書館館長の後藤市郎氏のご令室節子様(7月7日夕方、病気のため逝去されました。59歳でした。告別式は10日、帯広市の大谷東別院で、しめやかに行われ、多数の方がお見送りされました。ご冥福をお祈りいたします。全点協を代表して川越会長が出席いたしました。

———— カ レ ン ダ ー ————

7月16日(火)～17日(水) サービス委員会(日本点字図書館)

7月19日(金) 第1回デジタル音声情報システム促進委員会(戸山サンライズ)

7月23日(火) 点字出版部会との合同会議(日本ライトハウス盲人情報文化センター)

(予定)

8月21日(水)～22日(木) 機械化委員会(日本ライトハウス盲人情報文化センター)

8月21日(水)～23日(金) 第16回点字指導員資格認定講習会(大阪)

8月25日(日)～31日(土) IFLA第62回総会(北京)

~~~~~ 編集後記 ~~~~~

この機関紙はパソコン通信による発行を原則にしたいと希望しています。しかし各施設の状況もありますので、当面、郵送でお届けします。ご希望の方はデータによる受信も可能ですので、お申し出ください。

仙台大会において、浅野知事のお話にもありましたとおり、常に過渡期に立っているのですが、今、とりわけ大きな、大事な節目に私たちはあるように思います。いろんな意見、考えを寄せ合い、耳を傾け、選択を間違わないようにしたいものです。

「てんやく広場」の最近の動き

「てんやく広場」特別委員会
委員長 藤野 克己

去る7月4日(木)、5日(金)の二日間、京都で1996年度総会を開催しました。今総会では、事業報告・決算、事業計画・予算の承認のほか、新組織の発足、システム検討着手など、「てんやく広場」の今後にとって大変重要な決議がなされました。その概要についてご紹介します。(出席者は、56プリンティングセンターなど、計95名)

1. 組織変更と規約改正について

- (1)各ブロック代表者2名(計14名)で構成する「代表者会議」を設け、今まで総会で行っていた事業報告・決算、事業計画・予算などの審議と承認を行うこととした。
- (2)規約の改正、組織の廃止など重要事項を審議・決定するために、必要に応じて「総会」を開催することとした。
- (3)運営委員は、ブロック選出によらず、「代表者会議」で選任することとした。
- (4)今回は会議の種類及び役員の選出について、現行の「運営規約」を改正し、規約自体の見直しと整備について検討していただくために「規約検討委員会」を発足した。

委員は、小寺岩夫(運営副委員長:岡山県視聴覚障害者福祉センター所長)、小口継明(神奈川県ライトセンター所長)、金森 義忠(名古屋盲人情報文化センター所長)、事務局担当:加藤昭ヒコ(運営委員:神奈川県ライトセンタ

ー) の4氏。

2. 新システム検討について

現行のシステムでは、BEデータ及び国立国会図書館のABO1データの増加に対して耐えられないため、新しいシステムの検討を運営委員会で行うことになった。運営委員会で協議した結果、「てんやく広場」の将来像を見据えた上で新しいシステムを構築することとし、「新システム検討委員会」を設置して運営委員会に対して答申していただくこととした。

3. 「目録の整備」が重点目標

1996年度のスローガンを、「チームワークで乗り切ろう! 広場発展のカギは、目録の整備から」とし、全プリンティングセンターが協力して、目録の整備に取り組むことになった。

運営委員・監事 氏名

運営委員長:藤野 克己(岐阜訓盲協会点字図書館)

運営副委員長:小寺 岩夫(岡山県視聴覚障害者福祉センター)

":加藤三保子(点訳サークルにじの会)

運営委員:白土なるみ(福岡点字図書館)

":加藤昭ヒコ(神奈川県ライトセンター)

":襟川 茂(京都ライトハウス点字図書館)

監 事：西岡 時彦（上野点字図書館）
" : 本田 作江（同志社ブライユ）